

# SSCNET変換ユニット[DG2GWY31]利用可否チェックシート

No.1から順番にチェックすることで、DG2GWY31の利用可否確認ができます。

No. 1

## 利用可能なコントローラか確認

コントローラ	ユニット名称	本体OS	対応可否	ポイント
位置決めユニット	<input type="checkbox"/> QD75MH	-	不可	位置決めユニットには対応していません。
	<input type="checkbox"/> QD74MH			
	<input type="checkbox"/> LD77MH			
	<input type="checkbox"/> FX3U-20SSC-H			
シンプルモーションユニット	<input type="checkbox"/> LD77MS	-	可	LD77MSには対応しておりません。
	<input type="checkbox"/> QD77MS			対応していますので、「No.3 DG2GWY31を使用した場合のシステム構成」を確認してください。
	<input type="checkbox"/> RD77MS			
モーションコントローラ	<input type="checkbox"/> Q173DSCPU	<input type="checkbox"/> SV13	可	標準仕様の本体OSで動作するモーションコントローラに対応しています。続いて、「No.2 標準仕様OSの確認」を確認してください。
	<input type="checkbox"/> Q172DSCPU	<input type="checkbox"/> SV22		
	<input type="checkbox"/> Q170MSCPU(-S1)			
	<input type="checkbox"/> Q173DCPU(-S1)	<input type="checkbox"/> SV13		
	<input type="checkbox"/> Q172DCPU(-S1)	<input type="checkbox"/> SV22		
	<input type="checkbox"/> Q170MCPUCPU	<input type="checkbox"/> SV43		
	<input type="checkbox"/> R32MTCPU			
	<input type="checkbox"/> R64MTCPU			
		-		

この表にないコントローラ/本体OSをご希望の場合は、最寄りの営業所へご相談ください。

No. 2

## 標準仕様OSの確認

モーションコントローラの本体OSが、標準仕様か確認してください。標準仕様の確認は、エンジニアリングツール (MT Developer2) にてモーションコントローラからのパラメータ読み出しを行う際に表示されるOS形名/バージョン文字列にて行えます。

### ■操作/確認手順

#### ① MT Developer2を起動します。

MT Developer2 メニュー「オンライン」の「モーションからの読み出し...」をクリック



#### ② CPU読み出しウィンドウを表示します。

OS形名/バージョン文字列 (右図赤下線部) を表示しますので、OS形名とバージョンが確認できます。



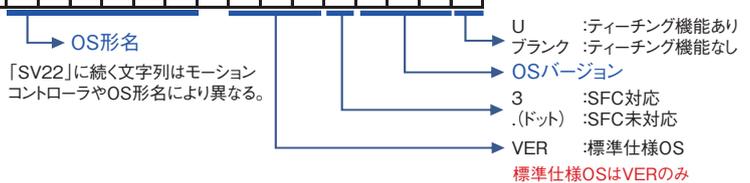
OS形名/バージョン文字列

#### ③ OS形名/バージョン文字列を確認します。

エンジニアリングツールで表示された文字列からOS形名/バージョンが確認できます。

OS形名/バージョン文字列

S V 2 2 Q A V E R 3 0 0 G



#### ④ 標準仕様OSを確認します。

エンジニアリングツールで表示されたOS形名/バージョンを記入してください。

OS形名/バージョン文字列記入欄

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

表示されたOS形名/バージョン文字列が以下の場合は、標準仕様OSではありませんので必ず動作仕様を確認し、DG2GWY31が利用可能か確認する必要があります。

(1) OS形名/バージョン文字列に、「VER」の表示がない場合。

例: S V 2 2 Q J S 9 5 3 0 0 A

(2) OS形名/バージョン文字列の「SV」に続く番号が3桁の場合。

例: SV229

標準仕様OS以外の動作仕様およびDG2GWY31の利用可否の確認は、当社にて事前確認サービス(有料)を行っておりますので、どうぞご利用ください。

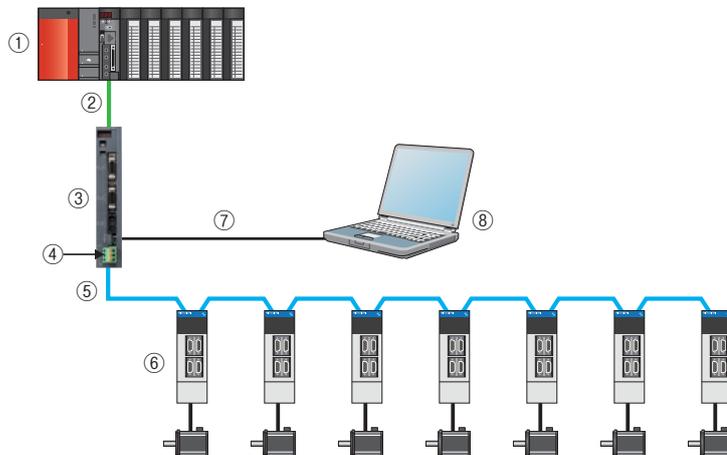
## DG2GWY31を使用した場合のシステム構成

DG2GWY31を使用した場合のシステム構成を示します。DG2GWY31やモーションコントローラ/シンプルモーションユニット以外にも新規手配が必要な機器やケーブルがあります。またサーボアンプが標準仕様以外の場合は、動作仕様を確認する必要がありますので、下表チェック項目をご確認ください。

当社ではサーボアンプを含めたシステム構成の事前確認サービス(有料)を行っておりますので、どうぞご利用ください。

### ■システム全体構成(製品形名、関連製品形名)

変換ユニット使用時の基本的なシステム全体構成を下記に示します。



No.	項目	形名	内容	備考
①	QDSモーションコントローラ	Q173DSCPU Q172DSCPU	SSCNET III/H対応モーションコントローラ	<input type="checkbox"/> 新規手配してください。
	Q170MSスタンドアロンモーションコントローラ	Q170MSCPU (-S1)		
	QDモーションコントローラ	Q173DCPU (-S1) Q172DCPU (-S1)	SSCNET III対応モーションコントローラ	
	Q170MSスタンドアロンモーションコントローラ	Q170MCPUP		
②	SSCNET IIIケーブル	RD77MS	SSCNET III/H対応シンプルモーションユニット	
		QD77MS		
③	変換ユニット	DG2GWY31	SSCNET III/H(最大16軸×1系統)→SSCNET(最大8軸×2系統)	
④	DC24V電源入力コネクタ	DG8PW3CN	DC24V電源入力コネクタ	DG2GWY31の付属品
⑤	SSCNETケーブル	MR-J2HBUS_M	変換ユニット⇔MR-J2S-B/MR-J2M-B/MR-J2-B/ MR-J4-B-RJ020+MR-J4-T20間ケーブル	<input type="checkbox"/> 流用できないケースがあります。 DG2GWY31のユーザーズマニュアル詳細編の[2章(2)更新システム構成]をご確認の上、必要に応じて新規手配してください。
		MR-J2HBUS_M-A	変換ユニット⇔MR-H-B間ケーブル	
⑥	サーボアンプ	MR-J2S-B	SSCNET対応サーボアンプ	<input type="checkbox"/> 流用できます。
		MR-J2M-B		<input type="checkbox"/> 標準仕様以外は動作仕様を確認する必要があります。
		MR-J2-B		
		MR-H-B		
⑦	USBケーブル	MR-J3USBCBL3M	変換ユニット⇔パソコン間ケーブル	
⑧	パラメータ変換ツールソフト	MELSOFT MT Works2	変換ユニットへのパラメータセット用ソフト	<input type="checkbox"/> 新規手配してください。

## 制約事項などについて

DG2GWY31を使用することで、更新後のコントローラで利用できない機能や制約事項があります。

詳細につきましては、「SSCNET変換ユニットDG2GWY31 ユーザーズマニュアル(詳細編)」に記載の下記項目を確認ください。

### 1. 概要

#### 1.1 注意事項

### 2.システム構成

#### (4) F/Wバージョンによる機能の制約

### 5. 運転までの設定と手順 (DG2GWY31の仕組みや、設定が必要なパラメータや未対応機能などの説明があります。)

#### 5.4 制約事項

ユーザーズマニュアルは、下記URLのマニュアルページからダウンロードが可能です。

[https://www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/product\\_information/products/dg2gwy31.html](https://www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/product_information/products/dg2gwy31.html) ▶



当社では上記制約事項やパラメータの確認などの事前確認サービス(有料)を行っておりますので、どうぞご利用ください。  
またDG2GWY31のデモ機貸し出しサービスも行っておりますので、最寄りの営業所へご相談ください。